

令和4年 11月11日

学校法人東北柔専
仙台接骨医療専門学校
校長 島谷 夕美 様

学校関係者評価委員会
委員長 遠藤 啓司

学校関係者評価委員会報告

令和3年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員
 - ① 遠藤 啓司 (さとう接骨院 院長)
 - ② 尾形 英晃 (金澤接骨院 卒業生)
 - ③ 渡会 真知子 (日の出接骨院 保護者)

- 2 学校関係者評価委員会の開催状況
第1回委員会 令和4年10月29日(土)(会場 仙台接骨医療専門学校会議室)

- 3 学校関係者委員会報告
学校関係者評価 評価票の通り

以上

令和3年度学校関係者評価 評価表

I. 重点目標について

1. 重点目標

- ・国試合格が目標であることは絶対だが、その先の柔道整復師・一社会人としての立ち振る舞いからの逆算での教育・指導もお願いできればと思います。
- ・SNS等を利用し、柔専とゆかりのある先生方との関わりを増やしたらどうか。
- ・在学生の日々の生活をブログ等で発信してみてもどうか。保護者の安心材料や学生募集につながると思う。

II. 各評価項目について

1. 教育理念

- ・学生や卒業生を見ていると、学校の充実度や素晴らしさを感じ取れます。
- ・臨床実習など、昨年やその前の年にやることができなかつたことが再開し、学生も自分達から学ぶ姿勢が見られて良いと思う。
- ・しっかり抑えられていると思う。

2. 学校運営

- ・コロナ禍で導入したオンライン授業等のシステムやノウハウを、今後も必要に応じて活用できるといいと思います。
- ・オンライン授業の外部の先生方に学生の方から質問を送るようなことは難しいだろうか。
- ・国試合格は年々厳しさを増していることを一年生のうちから学生たちに意識を持たせることが大切だと思う。

3. 教育活動

- ・学習定着率を上げるために“させられる”学びから“する”学びへどのように導いていくか。
- ・アルバイトがあつて補講などに出られない人に向けて、各教科のポイントとなる範囲を動画などでいつでも見て勉強できるようにしてみてもどうか。
- ・一年生のうちから国試対策プリントなどを国試になれるように4択問題にしたり、自分が学生だった頃はとにかく暗記だったように思うので、語呂合わせのプリントを先生に頂いて覚えたのが、とても国試に役立ちました。

4. 学習成果

- ・合格率100%は学生や教職員の方々の学習成果の表れだと思います。母数をさらにプラスできればなお素晴らしいと思います。
- ・学生間で勉強を教え合う行事（同級生同士でも）を増やしてみてもどうか。
- ・学生にアンケートを取ったり、もっと一人一人に対して充実した内容の勉強ができれば良いと思います。

5. 学生支援

- ・奨学金制度など適切だと思います。
- ・学費の分納制度は親も助かると思うので素晴らしいと思う。
- ・テストの結果など前回に比べてどうだったかなど点数の増加などを確認しやすいようにしてはどうか。
- ・良いと思います。

6. 教育環境

- ・とても整った環境だと思います。
- ・昨年に引き続き今年も大きな地震が起こったため、寮生（一人暮らし）の学生への支援があると良いのでは。
- ・とても綺麗で良い環境だと思います。

7. 学生の受け入れ募集

- ・SNSの活用（Instagram、TikTok等）
- ・保護者に向けたメッセージの発信も考慮しても良いかと思います。
- ・コロナが落ち着いたら、現場に出ている卒業生などにもオープンキャンパス等に参加してもらい、学生時代の話話を話してもらい、学校や現場の話に興味を持ってもらうのはどうか。
- ・SNS、ブログ等で日々の生活や取り組みなどをアップすると良いのではないかと思う。

8. 財務

- ・適切だと思います。
- ・良いと思います。

9. 法令等の遵守

- ・問題ないかと思います。
- ・適切だと思います。

10. 社会貢献・地域貢献

- ・様々な活動に参加し、多種多様な方々や幅広い年代の方と接することも社会に出た際に役立つはずなので、積極的に参加してみてもいいと思います。
- ・アルバイトをすることも社会貢献の一つだと思うので、様々な業種のアルバイトを学生のうちに経験しておくことも必要のように思います。
- ・感染症の様子を見て、ボランティア活動（柔道教室）を再開してほしい。
- ・ボランティア活動を体験させておくと、いざという時にスムーズに動けると思います。